

きのう2月2日は節分でした。節分と言えば…そう、豆まきですね。何と言ってまきますか？一緒に言ってみましょう。せーの「鬼は外、福は内」そうですね。どんな意味か分かりますか？鬼と言っても本物の鬼ではありません。「鬼のように恐ろしいものを外へ追い出して、福というのは『幸福』の『福』、つまり幸せがやってきてほしい」と言っているのです。

では「鬼のように恐ろしいもの」って何だと思えますか？昔の人が恐れていたもの、まずは病気でしょう。そして地震、大雨などの自然災害でしょう。今でも十分恐ろしいものですが、昔は病気や地震、大雨で、今よりも多くの人々が亡くなったので、人々は鬼のように恐ろしいと感じていました。

でも、もっと恐ろしいものがあります。それは、今も昔もずっと変わらずにあるものです。ひょっとすると昔よりも今の方がどんどん恐ろしくなっているかもしれません。何だと思えますか。それは人間の心の中に入り込んでくる「鬼」です。

例えば、他の人にいじわるしたり悪口を言ったりする「鬼」です。例えば、やらなくてはいけないことをさぼったり、だれも見ていないからと言ってずるをしたりする「鬼」です。他にもいろんな「鬼」がいますよね。皆さん、自分の心の中には、どんな「鬼」が入り込んで来やすいのか考えてみてください。

「鬼は外！」と言って、「鬼」を心の中から追い出すことも大事ですが、なかなかうまくいかないときもあります。そんなときは、「鬼」が入ってくる前に、「福は内！」と言って、心の中に「福」つまり「幸福」や「幸せ」を入れてしまいましょう。そうすれば「鬼」は入って来ることができません。でも、心の中に「福」を入れるって、どうすればいいのでしょうか。校長先生がやっているのは、だれに対してもできるだけ「ありがとう」と言うこと、そしてあれこれ考えずにやるべきことを一生懸命やること、です。皆さんもどうすれば、「鬼」を追い出し、「福」を入れることができるのか、考えてやってみてください。